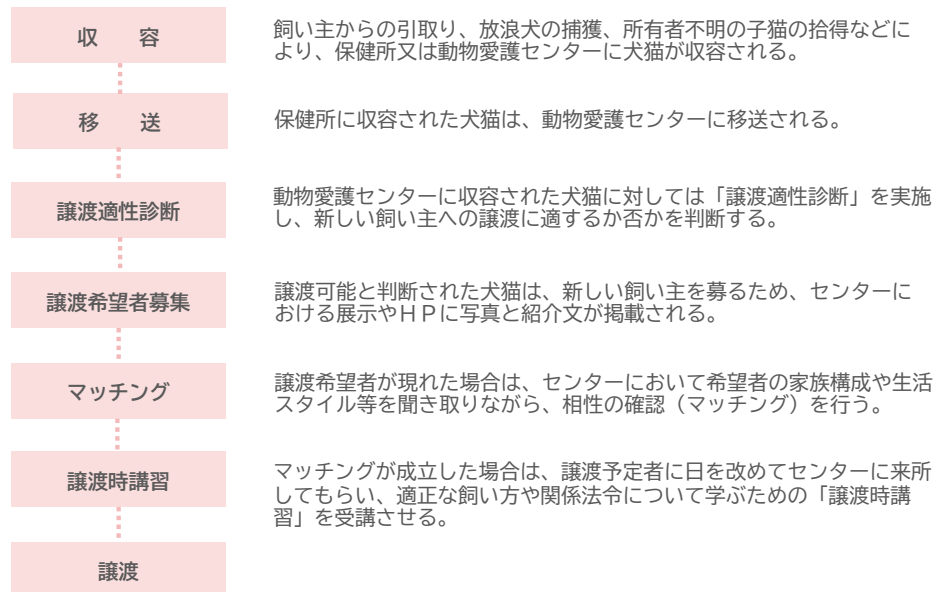


動物の愛護・管理業務及び 鳥獣保護管理業務における デジタル技術の活用について

令和 6 年 5 月 22 日
生活環境部

1 「犬猫の収容及び譲渡業務」について

- 犬猫は、不適正な飼い方をはじめとした様々な理由により保健所又は動物愛護センターに収容される。
- 収容された犬猫は、譲渡適性診断などを経て、新しい飼い主へ譲渡される。



【生活衛生課】動物の愛護・管理業務におけるデジタル技術の活用について

01 「犬猫の収容及び譲渡業務」について

02 課題

03 デジタル化の取組

2 課題

課題①

- * 安易な飼養や多頭飼育崩壊の発生などで、性格や健康上の理由で譲渡が困難な犬猫が多く収容され、殺処分せざるを得ないケースがある。

課題②

- * 犬猫の詳細な性格や特性を知ってもらうためには、実物を確認してもらう必要がある。
- * 遠隔地（特に県北地域）では譲渡数が低い傾向にある。

課題③

- * 譲渡時講習は対面で実施しているため、講師を務める職員によって、講習の質に差があるほか、時間的な負担も大きい。
- * 受講者は、事前学習の機会がなく、十分に疑問の解決ができない。

課題④

- * 収容犬猫の飼養管理の記録は手書きのため、記録作業の負担が大きい。
- * 所内における情報共有も煩雑になる。

3 デジタル化の取組

令和4年度

- 主に3分野の動画を制作し、動物愛護センターのWebサイト等で閲覧できるようにした。

1 適正飼養に関する普及啓発アニメ

- ◇ よりわかりやすく、より気軽に学ぶことができるショートアニメを制作し、Web上で公開



2 譲渡対象犬猫の紹介動画

- ◇ 譲渡対象の犬猫のプロフィールや日常の様子を撮影した動画を適宜制作し、Web上で紹介

3 譲渡時講習動画

- ◇ 譲渡時講習動画を制作し、Web上での事前・事後学習や、センターにおける講習に活用

3 デジタル化の取組

2 譲渡対象犬猫の紹介動画

- 犬猫の動画を撮影・編集し、YouTube及びWebサイトで閲覧できるようにした。
- 日常の姿や訓練の様子などをショート動画で紹介した。



視聴回数：計3万回



秋田県動物愛護センター
ワンニャピアあきた

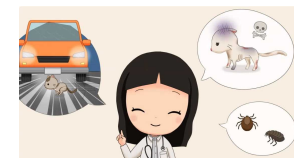
効果

- ▶ 人に不慣れなどの理由で、譲渡が難しい犬猫（多頭飼育崩壊の保護犬など）について、動画を見て譲渡を申し出る方も現れた。

3 デジタル化の取組

1 適正飼養に関する普及啓発アニメ

- 飼い主やこれから動物を飼おうとしている方が、よりわかりやすく、気軽に学べるよう、2分前後のショートアニメを計6本制作し、県Webサイトや動物愛護センターの公式YouTubeなどに掲載した。



▶ 親しみやすい温かみのあるイラストで、楽しみながらノウハウを学べる



視聴回数：計4万回

▶ イベント等においても活用

▶ YouTubeでの「適正飼養」検索ではトップに表示

効果

- ▶ リーフレット等紙媒体による啓発よりも高い効果が期待できる。

3 デジタル化の取組

3 譲渡時講習動画

- 譲渡時講習の内容を映像化し、Web上や電子データの再生により閲覧できるようにした。
- 譲渡希望者は、講習の内容を自宅でもオンラインで受講できる仕組みができた。



期待される効果

- ▶ 講習の伝達内容が標準化されるとともに、事前、事後学習の機会を設けることで、受講者の理解度向上につながる。
- ▶ 講習にかかる職員の業務の効率化につながる。
※犬猫の年間譲渡頭数は約400頭。講習の説明時間は約1時間。

3 デジタル化の取組

令和5年度

収容動物飼養管理システムの構築

- 飼養管理に関する課題を解決するために「収容動物飼養管理システム」を構築した。

動物愛護センターに収容された犬猫の給餌や健康管理に関する記録を、ノーコードツール「kintone（キントーン）」※を用いて電子化



引用：サイボウズ株式会社 kintone概要カタログ
(<https://kintone.cybozu.co.jp/material/>)

3 デジタル化の取組

収容動物飼養管理システムの構築

- 3つのアプリを構築
 - * 飼養カルテ（プロフィール、施術・投薬記録等）
 - * 健康行動管理記録（餌量、健康状態の記録等）
 - * 部屋移動記録（部屋の移動記録）



- 動物愛護センター内の8箇所の収容部屋で運用できるようタブレットを配置（5台）
- システムの操作はタブレットのほか、職員各自のパソコンで可能
- 入力した情報は、クラウド上でリアルタイムに所内で共有



期待される効果

- ▶ 健康状態などを含む個体情報の、効率的な共有及び活用
- ▶ 職員の作業時間と印刷費用の削減

【自然保護課】「ツキノワグマ等情報マップシステム」の運用について

